

国内クレジット認証委員会御中

## 審査結果概要書

平成 23 年 6 月 1 日

審査機関名 SGS ジャパン株式会社

### 1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	自動車部品工場における空調設備の更新
排出削減事業者名	株式会社モミモ
排出削減共同実施事業者名	一般社団法人 低炭素投資促進機構 (その他関連事業者：カーボンバンク株式会社)
事業実施場所	株式会社モミモ (群馬県桐生市相生町 3 丁目 136-1)
事業の概要	既存のガス焚き吸収式冷温水機から高効率の電気式空冷パッケージエアコンへと設備を更新することにより、エネルギーの効率化及び CO2 排出量の削減を図る。
排出削減量の計画	2011 年度：282tCO <sub>2</sub> /年 2012 年度：289tCO <sub>2</sub> /年 (事業実施期間合計 571 tCO <sub>2</sub> )
国内クレジット 認証期間	開始日 2011 年 6 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 004 空調設備の更新

### 2. 審査結果

本事業は、排出削減事業の要件に適合している

### 3. 実施した審査手続の概要

審査手続により、以下の排出削減事業の認証の要件の妥当性を確認している。

要件	審査手続
日本国内で実施されること	事業計画が日本国内で実施されていることを、事業サイトを訪問して確認した。 排出削減事業実施場所：群馬県桐生市相生町3丁目136-1 事業実施サイトの視察日付：2011年4月13日
追加性を有すること	<p>1) 法的義務がないこと 本事業は、法的義務等の遵守のために計画されたものではなく、CO2排出量の削減を目的として実施されたことを、関係者への質問等により確認した。</p> <p>2) 設備が継続利用可能なこと 排出削減事業を実施せず、設備更新を行わない場合、既存設備を継続して利用できることを、現地における関係者への質問及び関係書類で確認した。</p> <p>3) 投資回収年数 排出削減事業の投資回収年数は5.8年である。投資回収年数計算の根拠データについて、事業者及び関係者への質問及び検算、関連証憑との突合により適切性を確認している。投資回収年数の算出については、補助金を除いた純投資額をもとに算出している。</p> <p>4) 追加性判断における定性要因 本事業者はグリーンカーテン導入による省エネ活動や廃棄物削減等、環境に配慮した積極的な環境活動を行っている。その活動の1つである本事業は、通常の投資判断基準を超え、投資決定に至ることはないことをインタビューにて確認した。しかし、この国内クレジット制度の活用により、企業の社会的責任と環境への取り組みに対するアピール効果が期待できることが、本事業の意思決定の一因になっている。</p>
自主行動計画に参加していない者により行われること	排出削減事業者への質問、関係者への質問等により、本実施事業所が自主行動計画に参加していないことを確認している。

<p>排出削減方法論に基づいて実施されること</p>	<p>1) 本排出削減事業は、承認済排出削減方法論 004 に基づき排出削減量を計算しており、また、方法論の適用条件を満たしていることを確認している。</p> <p>「方法論 004」</p> <p>適用条件 1：既存の空調設備よりも高効率の空調設備に更新していることをカタログ及び算出結果より確認した。</p> <p>適用条件 2：空調設備の更新を行わなかった場合、既存の空調設備を継続的に利用可能であることをインタビュー及び関連書類にて確認している。</p> <p>適用条件 3：事業実施前後の空調設備のエネルギー使用量に最も影響を与える活動量が計測可能であることをヒアリング及び関連書類にて確認している。</p> <p>2) その他、バウンダリーの設定、ベースラインの設定、リーケージの特定、排出削減量、モニタリング方法が適切であることについて、それぞれ質問と関連証憑により確認している。特にリーケージについては、バウンダリー外での CO2 排出の特定がないことを確認した。</p>
----------------------------	--

上記の詳細については、別紙「排出削減事業の要件についての確認事項一覧」を参照すること。

#### 4. 特記事項

- ・ガス焚き吸収式冷温水機の為、フロン等の冷媒の使用はないことを確認している。

以上